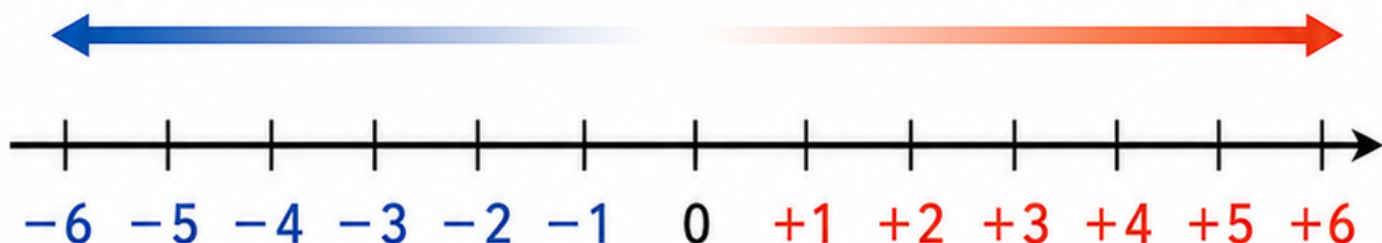


数直線で正負の数を見てみよう

- 0より大きい数を「**正の数**」という
- 0より小さい数を「**負の数**」という
- 0は正の数でも負の数でもない
- 正の数の「**+**」は省略できる 例： **$+5 = 5$**

小さい

大きい



数直線では、**右**にある数ほど**大きい**。

数の大小

- ① $-5 < -2$
- ② $-3 < 0$
- ③ $0 < 4$
- ④ $-2 < 3$

符号だけが異なる数

-3 と $+3$ のように、
符号だけが異なる数があります。

